

# はまかぜ



長浜小学校 教育目標 「自ら学び 夢に挑戦」  
一ツ橋中学校区めざす子ども像 「自ら輝く子 とともに輝く子」

長浜小学校 校長だより  
2020年（令和2年）  
7月28日4号 文責 校長

## アサナンデス・ヒルナンデス・スペシャルナンデス

6月からの2か月間、子ども達は本当によく頑張りました。その頑張りを支え、毎日学校に送り出してくださっている保護者の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。

子ども達は、友達と一緒に話ができる、笑い合える、自分の考えを聞いてもらえる…そんな当たり前のことに喜びを感じながら、日々の学習も頑張っていました。

朝の活動開始を10分早め、8時20分から45分までを朝学習（愛称はアサナンデス）とし、昼の学習（ヒルナンデス）の10分間と合わせ、毎日35分間をどの学年も学力補充に充てました。アサナンデスは算数を、ヒルナンデスは漢字学習を行いました。

アサナンデスの算数では、授業中に行った問題でもう少し定着させたい問題に取り組んだり、授業に関連した問題を扱うことで、授業の導入の時に興味を持つことや理解を深めることにつながりました。ヒルナンデスの漢字学習では金曜日の漢字テストでの合格を目指し、毎日少しずつ学習していきました。新出漢字をクラス全体で学習する時もあれば、テストに向けて、自分が一番覚えやすい方法で一人で漢字学習をしたり、友達と問題を出し合って学習したり、辞書や前のプリントを使って学習したりと、目標に向かって学習スタイルは様々でした。毎日35分間、計画的にコツコツと丁寧に学習を積み上げていきました。

また、金曜日の6時間目（低学年は5時間目）をスペシャルナンデスの時間として、1週間の自分の学習やクラスの授業の様子を振り返り、その時に必要な学習を進めていきました。自分は（自分達は）今、どんな力がついていて、これから何をどう頑張る必要があるのか、常に振り返りながら学習に取り組んでいます。

（裏面に続く）

体罰・セクハラ・いじめ相談は、毎月第3火曜日・・・相談窓口 関戸 宮仲  
急ぐときは、いつでも担任・教頭も相談に乗ります。943-5926（長浜小学校）  
福山市教育委員会（学事課）928-1112 広島県教育委員会（専用）082-427-3076



8時30分の6年生の教室の様子



それぞれのスタイルで漢字のテスト勉強をする5年生。  
担任は見守りつつ必要な指導・助言をしています。





他にも、子ども達に学びを保証していくために次のことにも取り組みました。

○コロナ対策のために延期や出来なくなった行事を見直して、その時間を授業に充てる。

○家庭学習の内容と授業をつなげたり、ICT 機器を活用したりして、子ども達が興味をもって主体的に授業に参加できるよう授業の構成を工夫する。(子ども達が主体的に学習することで理解が深まります。)

これからも子ども達に学びを保証していくために、ワンチームで取り組んでいきます。

## 学校訪問がありました

7/16 福山市教育委員会 学びづくり課 松岡学校指導員, 7/17 広島県教育委員会 学校経営戦略推進課 杉原学校経営相談員が本校に来られ、授業を参観され、次のようなコメントを頂きました。

- 先生が子ども達に寄り添いながら授業をしている雰囲気がよく伝わってきた。
- 子ども達が自分で問題を解こうとしている。思考している。
- めあてから発生させて、わざと少し難しい問題に挑戦させ、子どもを揺さぶっている。子どもも「えっ〜。」「むずかしい。」「できんよお。」と言いながらも嬉しそうに挑戦している。
- 自分たちで考えを出し合いながら、自分たちで表現を創り楽しんでいる。その表現も多様である。表現を動きながら確かめているグループ、話し合っているグループ、と様々な活動を自分たちで選んでできている。どの子も協働して活動している。
- 「わかった。」「できたよ。」「やってみよ。」というつぶやきが自然にたくさん上がっている。そうつぶやいている時の子供の顔がいい。
- 意欲的に学んでいる。自分が必要だと思うから「友達と学ぶ」ということが自然にできている。
- 子どもが自分で問題意識（何を解決するか、考えるのか）をもっているから、子ども達の主体的な学びが生まれている。
- 課題が明確なので、子どもが自分から進んで課題解決に動いている。全ての子が学びに向かっている。学級全体が学びの雰囲気。
- 考えてほしいことを、子どもの動きで視覚化して見せることで、理解を深めている。また、興味をもって考えることにつながっている。
- 子どもが「わからない。」と言っているのが良い。
- 教えこもうとするのではなく、辛抱強く子どもの話を聞いている。子どもも自分の考えを相手に分かってもらおうと思って話している。
- 先生が子ども達の話じっくりと聞いている。
- 子ども達が学びたいと思う課題を提示している。
- 教材を工夫しながら、子どもから引き出そうとしている。
- タブレットを用いて、自分の目で発見させる気付かせる授業に挑戦している。
- 目の前の子ども達の課題から学習活動を考えている。
- 子どもが課題解決をしている時につぶやいた言葉が、他の児童のつぶやきにつながったり、そこから、子ども同士のつぶやきで問題が解決されたり、「えっ!？」という次の疑問や確かめにつながったりしている。



**自ら学ぶ子、学ぼうとする子の姿、それを創り出す先生たちの姿が見えた**